

 <p>浜田水産高校「同窓会会報」</p>	<p>〒697-0051 浜田市瀬戸ヶ島町25-3          TEL 0855-22-3098 Fax 0855-23-4811          E-mail <a href="mailto:hamadasuisan-hs@edu.pref.shimane.jp">hamadasuisan-hs@edu.pref.shimane.jp</a>          H P <a href="http://hamasui.ed.jp">http://hamasui.ed.jp</a></p>
--	--

浜水会会員の皆様におかれましては、各方面で日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

常日頃、母校および浜水会の発展のため、物心両面のご配慮をいただき、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。



早いもので瞬く間に一年が過ぎましたが、地元の小中学校の児童・生徒の減少、県立高校では入学者が定員に満たない厳しい状況が続いています。令和8年度から高校無償化が私立高校にも適用され、浜田市内の3校共々この時代をどのように受け止め、守っていくか強く考えていかななくてはなりません。

産官学連携や教育内容の充実、地元経済界の皆様とともに学校の魅力化を図り、水産業あるいは地域産業の担い手の育成に地域を挙げて取り組み、なくてはならない水産高校を目指し、学校長を始め先生方、職員の皆様と頑張っていこうと思います。

県外、市外から浜田水産高校に入学して頂いている生徒さんは、なぜ本校を希望して入学して頂いたのか、小規模校のメリット・デメリットをもっと理解していかななくてはならない時機が来ています。県立高校と私立高校いろいろな制約があると思いますが、1人でも多くの入学希望者に水産高校を選んで頂くように頑張っていきます。

伝統行事である水高祭での水産加工品販売や、水高市場などは市民の皆様に対する一大イベントで、PTAの皆様のお力を借りて今もなお大盛況となっています。私も水産製造科を卒業しましたので今の食品流通科の状況が気になります。生徒数の一番少ない科ではありますが、後援会の皆様に気にかけていただき、科名の変更も提案して頂きました。

地元のスーパーマーケット等で、ノドグロふりかけ、浜田水産高校製の魚醤入りキムチなどアピールしている食品もあります。地元経済界の皆様とのタイアップ企画を試みて欲しいと思います。

新たな気づきとして、食品流通科の生徒がウニの養殖飼料として雑草を考え、数種のものを与えおいしくなるのはどれなのか試行錯誤しています。ワカメ養殖を含め自然のものから新たな食品を提案し、作り出せる食品流通科に発展していくことが必要不可欠だと思います。失敗を恐れず一つ一つ目標に向かっていくことを期待しましょう。海洋技術科も神海丸で培った能力を、将来役立てられる大人になってほしいものです。

生徒達には明確な目標・目的を持つ高校生であることで、一步ずつ前進して大きな夢に繋げていって欲しいと思います。勉学と心身の鍛錬に励み様々な課題に対して自ら学び、考え行動できる人間、個性と多様性を尊重する豊かな心を持った人間へと自分を高めるとともに、水産・海洋・製造・流通のスペシャリストとなる生徒の育成に邁進する浜田水産高校に、微力ながらお手伝いをしていきたいと思っています。

令和8年度は2年後に創立80周年を迎える年に当たり、新たな同窓会名簿の発行を計画し作業中です。昨今の厳しい状況下ではありますが、皆様のお力添えを得て立派な名簿にしていきたいと思っています。また、一昨年春には若い世代の会員に浜水会役員をお願いしました。その中には地元で活躍しておられる女性会員もおられます。皆さんの今後のご活躍を期待しております。

浜水会諸先輩へ敬意を表し、皆様と手を取り合いながら運営に努めます。今後も浜水会へのご指導を宜しくお願いします。

令和8年3月吉日

浜田水産高等学校同窓会  
会長 米谷 浩

## ◆令和7年度 浜水会事業◆

### 浜水会役員会

日 時：令和7年6月28日（土）10:00～12:00

会 場：浜田水産高校会議室

会長・顧問をはじめ、理事・監査及び事務局の計19名の参加を得て、令和7年度役員会が開催されました。議題は以下のとおりです。

1. 令和6年度事業報告
2. 令和6年度会計・監査報告
3. 令和7年度事業計画(案)
4. 令和7年度予算(案)
5. 令和7年度浜水会役員(案)
6. その他

議題6. その他では以下について報告と協議が行われました。

#### ・ 会員名簿の発行

今回は(株)サラト(兵庫県姫路市)と契約を結び、令和8年12月下旬発行を予定して作業に入ることを事務局より報告。

#### ・ 80周年記念事業の実施時期について

40周年事業までは創立から満で実施していたが、それ以降(50、60、70、周年)は数えて実施してきた。これを満に戻したいとの学校の意向を受け、同窓会としては学校に一任することに決定。

### 広島支部総会・懇親会

日 時：令和7年7月13日（日）10:40～14:00

会 場：広島ガーデンパレス

出 席：名

今回も広島駅新幹線口のすぐ北側、広島ガーデンパレスを会場として開催されました。本部事務局からは米谷会長と白井校長先生の他、本校事務局員である長田暁史先生が参加されました。

### 関西浜水会総会・懇親会

日 時：令和7年10月5日（日）11:00～16:00

会 場：ニューオオサカホテル

令和7年度の関西浜水会総会へは、事務局より米谷会長と長恒文彦先生(70期海洋技術科卒)が出席しました。大阪万博も最終盤にさしかかったところ

でもあり、交通や宿泊に心配がりましたが特に大きな混乱等なく参加することができました。事務局の若い長恒先生はせっかく大阪まで行きながら万博へ行けないのは少し残念そうでしたが、関西浜水会の皆様と交流できたのは刺激になったようでした。

一昔前と異なり、近年は関西方面へ就職・進学する生徒は本当に少なくなりました。一方で関西地方から本校へ入学する生徒は一定数おります。ぜひこの生徒達が卒業・就職して帰省した際には、関西浜水会の活動に参加してくれるよう事務局からも働きかけたいと思います。

### 【関西浜水会総会集合写真】



### 会員名簿の発行

前回の会員名簿の発行は平成29年11月でしたので、そろそろ新しい名簿を発行しようと事務局で検討していました。令和10年度に創立80周年記念事業が予定されており、おそらく令和9年4月頃よりその準備が始まることを考慮すると、令和8年12月頃が発行のタイミングとしてベターではないかとの結論に至りました。

現在皆様のお手元に名簿発行のお知らせが往復ハガキとして届いていることだと思います。最新の情報を反映した名簿とするためには皆様のご協力が必要となります。必要事項をご記入の上、返信を送って頂きますようよろしくお願い申し上げます。

今回の名簿発行については(株)サラトと浜水会が発行契約を交わし作業に入ったところです。お近くの会員の方より名簿発行に関する質問等がありましたら、フリーダイヤル0120-951-026へ電話して頂くようお知らせ下さい。

**浜水会入会式**

令和8年2月27日(金)76期生の浜水会入会式が挙行され、海洋技術科20名、食品流通科11名合計31名が新たに会員となりました。16期生が卒業した昭和41年3月から31期生が卒業した昭和56年3月までは、毎年約160名の入会者がおりましたが、今回はその約5分の1となりました。少子化とはいえ寂しい人数ではありますが、それでも米谷会長からは入会を歓迎する言葉と、社会へ乗り出す生徒達に激励のエールが送られ、入会生からは食品流通科3年の山崎美空さんが、力強く入会宣誓をしてくれました。

卒業生は今後浜水会の会員という一つ増えた肩書きとともに人生を歩んでいきますが、会員の皆さんとどこかで出会うかも知れません。その時は人生の先輩として暖かく見守って頂きたいと思います。

次に卒業生の進路先一覧を載せておきます。皆さんのそばに76期生がいるかもしれませんね。

		事業所・学校名	地域	業種・学科等
海洋技術科	就職	(株)オーシャンリンク	愛知	RORO船甲板員
		中山園	和歌山	耕種農業
		四国汽船(株)	香川	旅客船
		七洋船舶(株)	神奈川	漁業取締船
		(株)浜田あけぼの水産	浜田	底引き網漁船
	進学	社会福祉法人 弥栄福祉会	浜田	介護職
		今治造船(株)広島工場	広島	造船工作スタッフ
		専攻科	浜田	漁業科・機関科
		波方海上技術短期大学校	愛媛	海技士教育科海技課程
		広島情報ITクリエイター専門学校	広島	ゲーム製作2年制コース
食品流通科	就職	福山大学	広島	生命工学部
		水産大学校	山口	海洋機械工学科
		(株)キヌヤ	益田	販売係
		(株)大磯	浜田	製造工員
		日本製紙(株)江津工場	江津	技術スタッフ
		(株)シティプラスチック	江津	NCオペレーター
		太陽ケーブルテック(株)	江津	製造職
		(株)いっぷく	岩手	ホールスタッフ
	進学	石見食品(株)	石見	製造スタッフ
		(株)植村漁具	浜田	店舗スタッフ
専攻科	就職	BlueSkyFrontier(株) 江津事業所	江津	製造検査
		広島製菓専門学校	広島	洋菓子科
		山友汽船(株)	兵庫	内航貨物船航海士
		神原タグマリンサービス(株)	広島	曳船航海士
		共栄マリン(株)	東京	サルベージ船甲板員
		宮崎産業海運(株)	大分	RORO船航海士
		九州マリン(株)	福岡	内航貨物船機関員
		広洋海運(有)	広島	RORO船機関員
		井本商運(株)	兵庫	内航コンテナ船機関士
		鶴丸海運(株)	福岡	セメント運搬船操縦員

**◆R7年度学校の様子◆**

今回は皆さんがご存じの学校行事の他に、“学校はこんなこともやっている”といった事業に焦点を当てて紹介します。「今頃の高等学校ではこんなことをやっているのか。」と時代の流れを感じるものが多いのではないのでしょうか。

**入学式(4月9日)**

海洋技術科24名、食品流通科12名の計36名が入学許可されました。1学年の定員が80名なので大幅に割れています。かつては1学年4クラス160名定員がほぼ埋まっていたので、専攻科も合わせると500人近い生徒がいたわけです。少し寂しいですがこれが現在の姿です。

**体育祭(9月2日)**

近年は体育祭を県立体育館で実施させていただいています。体育祭と言えばグラウンド実施のイメージですが近年注目されている『熱中症対策』ですね。時期も時期なので冷房が効いている体育館で実施できるのは生徒教員含め安心です。また室内実施のため天候に左右されない点は大きいのではないのでしょうか？



### 水高祭 (10月25日・26日)

1日目は生徒研究発表、クラス・部活動紹介、生徒会企画が午前に行われ、午後より有志催し、各科・文化部展示、古本市が行われました。クラス紹介では爆笑が起こるクラスもあり、とても楽しいメニューでした。

2日目は、お馴染みの実習製品販売、魚市、マグロ販売、タッチプール、PTA 食堂、お茶席、ミニ水族館などが行われました。例年どおり多くの来場者で賑わいましたが、すぐに売り切れてしまうものもあり、欲しいものが買えなかった方も少なくありません。学校としては十分な量を準備したいのですが、限度があるというのが現実です。「売り切れの際はご容赦ください。」とアナウンスするしかありませんでした。

令和8年度は10月24日・25日に開催予定です。卒業生の皆さんぜひお越し下さい。



【魚市】



【実習製品販売】

### マリンロボットコンテスト

神奈川県横須賀市の「国立研究開発法人海洋研究開発機構」で開催された全国水産・海洋高等学校マリンロボットコンテストへ、海洋技術科3年生の課題研究「水中ロボット班」、小川君、岡本君(地元出身)、北澤君(神奈川県出身)の3名が出場しました。結果はプレゼン部門第2位、実機を使用したレース部門第6位、総合第3位という成績でした。前回、試行錯誤して完成させた機体を今回は、よりコンパクトに改良しました。引き続き次の時代の生徒へ託し是非、優勝してほしいと思います。



### しまねふるさとフェア 2026 (令和8年1月17日・18日)

しまねふるさとフェアに食品流通科3年生が参加しました。



【浜田水産高校ブース】

今年度も『しまねふるさとフェア』に参加しました。昨年に引き続き多くご来場していただきありがとうございます。

## 実習製品校外販売（令和8年2月26日）

食品流通科による実習製品販売が浜田市役所で行われました。恒例行事にもなりつつ多くの方に来ていただきありがとうございます。



【市役所での実習製品販売】

## 会員からの投稿

### セントエルモの火

29F 山本 省三

フロリダ州タンパ港でリン鉱石を満載した船は呉港へ向けて出港し、経由地であるパナマ運河の大西洋側入り口であるクリストバルを目指していた。これはメキシコのユカタン半島とキューバの間に横たわるユカタン海峡を航行中の出来事である。

三等航海士であった私は20時前に当直のためブリッジへ上がった。チャートテーブルの海図から現在の船位、針路、速力、当直中に通過予定の物標などを確認した後、「ありがとうございます。」と前直者に声をかけながら、ブリッジとチャートルームを隔てるカーテンを押し分け、操舵スタンドのレピータコンパスが見える位置へ進んだ。ジャイロコース、ログの速力、風向・風速、周囲の状況などを把握し、前直の一等航海士から当直の引き継ぎを受けた。その中に「船首方向に電光が見えるから、積乱雲があるみたいだよ。」という一言があった。私は引き継ぎ事項を復唱し、遠い電光を確認してから「お疲れ様でした。」とブリッジを降りていく前直者を見送ったのである。

船首方向に見えていた電光はどんどん接近し、何本も落雷となって海面に達しているのが見えてきた。そのうち船の周りが落雷と積乱雲を切り裂く稲妻で

囲まれ、その光がまぶしくて目が開けられないほどになり、夜であるにもかかわらずサングラスを付けてのワッチとなった。見張りはレーダーを併用しながらである。相ワッチのコーターマスターと「夜のワッチで初めてサングラスを付けた。」「すごいことになりましたね。」と話しながら、稲妻と轟音に圧倒されて淹れたコーヒーを飲むことさえ忘れていた。

幸い被雷することもなく船は進み、いつしか強烈な電光群も船尾方向に移っていった。そして前方にはいつもの暗い空間が戻ってきたときである。サングラスを外してしばらくした後、船首方向少し高い位置に小さな白い明かりが見えてきたのである。コーターマスターも明かりに気づき「船がおるのかな。」といいながら双眼鏡を目に当てている。私も双眼鏡でのぞいてみたが、どうやら小さな明かりは自船のローリングに合わせて左右にかすかに動いているので、他船の灯火ではなさそうである。「マスト灯のカバーに穴が空いて、灯光が後から見えるようになったのかな。」「明るくなったら確かめに行かんとね。」といった会話を交わしている間に、小さな明かりはどんどん増えていったのである。

始めはマストの先端、ジブクレーンの頂部、パーマネットスタンスの角など尖った場所に明かりがともっていたが、そのうち船体の至る所が光り出した。ハッチカバーの角には一列に並んだ光、ハンドレールは一段目から三段目までどれも光の列、ウイングの手すりは内側も外側も小さな光が並び、レピータコンパスはスタンドもカバーも数十カ所が光っていた。まるで船体が数百・数千の電飾で満ちた巨大なクリスマスツリーのような感じだった。下を見ればかき分けられた波の中で夜光虫が光り、見上げればレーダーマストは光の点で覆われている。人の手では作り得ないその光景はまさに幽玄的であり、私とコーターマスターはウイングに立ち尽くし、言葉を発することができなかった。

そのうち私はこの光がジージーと小さな音を立てていることに気付いた。それらの一つに恐る恐る手を触れると、パチパチという音を発して光は消え、手を離すとまた光が戻った。現代であればスマホの動画として保存できるのであるが、当時はそのようなものはなく、私はこの現象全体を心に刻もうとしていた。

光のショーはそれほど長い時間ではなく、10分ほどだったように思う。気付いたときには光の数は減

少して数個を残すのみとなり、それも徐々に暗くなり、やがて消えてしまった。船尾方向を振り返ると電光は既に見えず、プロペラの放出流に驚かされた夜光虫が自船の航跡を光で示すのみであった。「ああ、終わったんだな。」と心の中でつぶやいたとき、ブリッジの中から「サードオフィサー、コーヒー飲もうや。」とコーターマスターが声をかけてくれた。私は幻想的な世界から現実に戻り、ウイングからブリッジへ歩いていった。

今から40数年前、セントエルモの火に遭遇した新米航海士だった頃の思い出である。



氏名：梅田 純一  
科：海洋技術科海洋コース 51期卒業(専攻科修)



氏名：日原 和浩  
科：海洋技術科機関コース 55期卒業(専攻科修)  
一言：平成26年より本校に戻り働かせていただいています。生徒が一人でも多く船乗りになるよう船乗りの楽しさを伝えていけたらと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

### 事務局紹介 令和8年度現在



氏名：山崎 淳  
科：海洋技術科漁業科 42期卒(専攻科修)  
一言：最後の本科漁業科生です。

平成24年から浜田水産高校で12年、浜田養護学校を2年勤務し、この度2年ぶりに帰って来ました。みなさんと楽しく実習などをしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



氏名：瀬上 拳  
科：食品流通科 61期卒  
一言：令和7年度より本校に戻り、勤務しております瀬上拳と申します。在学中はハンドボール部に所属しておりました。今後ともよろしくお願いいたします。



氏名：佐々木 一真

科：海洋技術科機関コース 65 期卒（専攻科修）

一言：平成 31 年(令和元年度)より縁あって本校に戻ってまいりました。在学中は弓道部に所属してました。今一度学校を盛り上げれるようにOBとして教員として頑張っていきます。今後ともよろしくお願ひします



氏名：渡辺 朋生

科：食品流通科 70 期卒

一言：令和 7 年度より縁あって実習助手として本校で再びお世話になることとなりました、渡邊朋生です。在学中に学んだことを活かし、本校に貢献できるよう努めたいと思います。よろしくお願ひいたします。



氏名：長恒 文彦

科：海洋技術科海洋コース 70 期卒（専攻科修）

一言：縁あって本校で勤務させていただくことになりました長恒文彦です。在学中はカッター部に所属しており現在、顧問とし生徒と日々全国大会に向けた技術指導を行っています。今度ともよろしくお願ひいたします。